

=====
統計メールニュース No.829(2016.4.18)

このメールは、配信登録された方に無料で送信しています。

=====
【本日の公表データ】

■統計トピックス No.93 企業研究費における我が国の動向と主要国の特徴

ー科学技術週間(4/18～4/24)にちなんでー(科学技術研究調査の結果から)

○平成 26 年度の企業の研究費は、13 兆 5864 億円(対前年比 7.0%増)となり、2 年連続で増加し、過去 3 番目の高水準となっている。

○産業別にみると、自動車等製造業が全体を牽引

○主要国と比較すると、日本の企業の研究費は第 3 位

○主要国の産業別研究費の割合についてみると、韓国は上位 1 産業、日本は上位 4 産業で企業の研究費の総額の 50%以上を占めている。

○主要国において、研究費が最も多い産業は、

・ドイツ及びイタリアでは、自動車等製造業

・アメリカ、中国、韓国及びカナダでは、コンピュータ・電子部品等製造業

<http://www.stat.go.jp/data/kagaku/kekka/topics/topics93.htm>

=====
□調査へのご理解・ご協力をお願いします。

ーあなたの答えが、未来への答えになる。ー(広報動画)

<https://www.youtube.com/watch?v=Z9pZpUuj-hw>

=====
配信先の変更・配信中止など

<http://www.stat.go.jp/info/mail/index.htm>

ご意見、ご感想、配信に関するお問合せなど

stat_m-news@soumu.go.jp

=====
このメールにお心当たりがない方は、大変お手数ですが下記までご連絡ください。

総務省統計局統計情報システム課統計情報企画室

stat_m-news@soumu.go.jp